

タチヒダゴケ科

# ホソミノゴケ

*Macrocoma tenue* (Hook. et Grev.) Vitt. subsp. *sullivantii* (Muell. Hal.) Vitt

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

## ■ 県内分布

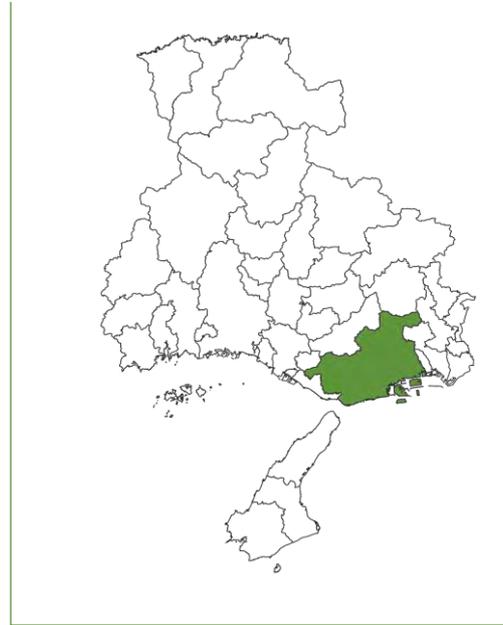
神戸市

## ■ 国内分布

本州、九州

## ■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



## ■ 特記事項

-

## ■ 保護上の留意点

-

## ■ 種の概要

茎ははい、羽状に分枝するが、枝は細くて横に伸び、枝先は上を向く。葉は乾いても茎や枝に接し縮れないのでミノゴケ属の種よりも細く見える。葉は長さ0.8-1.3mm、卵状披針形で鋭頭、中肋は葉先近くに達する。葉身細胞は円状六角形、長さ5-10 $\mu$ m、厚壁で平滑。葉基部の細胞は長楕円形。雌雄同株(異苞)。蒴柄は長さ2-4mm。蒴歯は2列、内蒴歯は外蒴歯より短い。帽は鐘状で多くの長毛がつく。胞子は径25-30 $\mu$ m。樹上や岩上に生えるがまれである。